

授業コード : 22074

授業科目名 : リハビリテーション医学

受講者数 : 31 名

担当教員名 : 佐直 信彦

回答者数 : 29 名

学 部 : 医療福祉  28 総合政策  0 科学技術  0 無回答  1

学 科 専 攻 : 理学療法  0 作業療法  0 言語聴覚  29 視覚機能  0 看 護  0

保健福祉  0 生活福祉  0 精神保健  0 総合政策  0 知能情報  0

人間環境  0 無回答  0

学 年 : 1年  0 2年  28 3年  0 4年  0 無回答  1

設 問 文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均
<b>A: 授業への取り組みについて</b>	5 そうである	4 まあそうである	3 どちらともいえない	2 あまりそうとはいえない	1 そうとはいえない		
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑥0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	19	9	1	0	0	4.62	4.37
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	1	5	12	7	4	2.72	3.42
問3. 授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	1	7	9	8	4	2.76	3.37
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	1	6	9	8	5	2.66	3.16
<b>B: 学習環境について</b>							
問5. 教室の設備環境(広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など)は適切でしたか	7	12	6	2	2	3.69	4.13
問6. 受講学生数は(講義受講者数、演習・実習時の教員数など)適切でしたか	9	12	6	1	1	3.93	4.09
<b>C: 授業内容・方法・成果について</b>							
問7. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	3	10	9	5	2	3.24	4.06
問8. 授業内容は理解しやすかったですか	2	5	10	5	7	2.66	3.85
問9. 授業中に質問しやすい環境でしたか	2	9	9	5	4	3.00	3.58
問10. 教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	3	8	12	3	3	3.17	3.84
問11. 黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	3	10	8	4	4	3.14	3.84
問12. 授業中に声が十分に行き渡っていましたか	3	11	7	4	4	3.17	4.16
問13. 教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	4	11	8	3	3	3.34	3.97
問14. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	2	12	6	5	4	3.10	3.91
問15. 授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	2	7	12	5	3	3.00	3.87
問16. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	2	7	11	7	2	3.00	3.87
<b>D: 授業の全般的印象</b>							
問17. 教員の熱意を感じましたか	7	12	5	1	4	3.59	4.14
問18. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	4	9	10	3	3	3.28	3.98
問19. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	2	7	13	4	3	3.03	3.99

学生へのメッセージ

今回の評価は、これまでPT・OTに対して行っていたリハ医学講義の評価では経験したことのない厳しい結果に驚愕するとともに、いろいろ考えさせられた。この講義でSTの学生とはなかなかラポールが得られなかった点を内省し、以下のように改善したい。

①加齢による影響として、聴覚の弁別能の低下には気付かされていたが、発語は自分の耳には大きく聞こえるので十分な声量で話しているつもりになっていた。初めて全国学会で発表したときには、自分の訛りを矯正するため、何度も録音し練習したのを思い起こし、再度、発声練習をする。

②時間がルーズだったことは思い当たらない。これまで通り始業時間とともに出欠をとる。名前を読み上げ出欠を取る時間を短縮するため、席次を決めることにする。

③今回初めて臨床実習にでた学生は、「四肢・体幹障害のリハに関して余りにも無関知であった。リハ医学の講義の重要性を知った。」と話していた。これからの専門職には、他専門職の知識と技術の共有が求められる。このことの理解が得られるように、熱意を持って繰り返し伝えたい。

